

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	: 塩化サマリウム(Ⅲ)六水和物
化学式	: $\text{SmCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$
製造者	: チカモチ純薬株式会社
住所	: 大阪市北区大淀南 1-9-16
担当部門	: 営業部
電話番号	: 06-6453-6023
FAX 番号	: 06-6453-6023

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物質又は混合物の分類	: GHS 分類基準に該当しない。
注意喚起語	: なし

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一物質
化学名又は一般名	: 塩化サマリウム(Ⅲ)六水和物
含有量	: 97.0% 以上
化学式	: $\text{SmCl}_3 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$
化審法官報公示番号	: N/A
安衛法官報公示番号	: N/A
CAS No.	: 135465-55-9

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること
皮膚に付着した場合	すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状続く場合は医師に連絡すること。
眼に入った場合	数分間目を付けて洗浄する。その後も洗浄を続ける。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。医師の指示がない場合には、無理に吐かせない。

## 5. 火災時の措置

消火剤	周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
使ってはならない消火剤	特になし。
特有の消火方法	利用可能な情報はない。
火災時の特有危険有害性	熱分解は刺激性で有害なガスと蒸気を放出することがある。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器及び消火装備を着用する必要がある。

## 6. 漏洩時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業服の際は適切な保護具を着用し、飛散したもの等が皮膚に付着したり粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

回収、中和 利用可能な情報はない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。酸性物質との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。
保管 適切な保管条件	直射日光を避け、換気の良い場所に密栓して保管する。
安全な容器	ガラス
混触禁止物質	強酸化剤

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。
暴露限界	設定されていない。
保護具	
呼吸器用の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

性状	結晶
色	白色～うすい黄褐色
溶	水、エタノールに溶ける。
比重・密度	2.383
その他	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	推奨保管条件下で安定。
反応性	データなし

## 11. 有害性情報〔無水物(CAS No. 10361-82-7)について〕

急性毒性	経口 LD50 3073mg/kg(rat)
	経皮 LD50 N/A
	吸入 LC50 N/A

その他(生殖細胞変異原性、発がん性、吸引性呼吸器有害性等) データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	利用可能な情報はない
その他のデータ	データなし
残留性・分解性	利用可能な情報はない
生態蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規則に則る必要がある。
汚染容器及び包装	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規則に則る必要がある。

## 14. 輸送上の注意

国内規制	適用法令なし
国連分類	分類基準に該当しない

## 15. 適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当

## 16. その他の情報

NITE、IATA 危険物規則書、RTECS、中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報  
有機合成化学辞典((社)有機合成化学協会)、化学大辞典(共立出版)

#### コメント

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012 に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の手扱い方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。